親愛なる恐竜達へ

生きていれば
苦しいこと
悲しいこと
辛いこと

沢山、沢山あるけれど

ぼくには大切な人がいたから

どんな時も頑張って
笑顔で生きてこれたんだ

でも、心の奥深くに
突き刺さった言葉のとげや
心に残った傷跡は
なかなか、なおらないね

そんなぼくを
支えてくれたのは

幸せを運ぶ恐竜達
そうさ、きみだ！

何度も、何度も
ぼくを背中に乗せて
ぼくが泣きやむまで
空を飛んでくれた

いつまでも悲しむことは
いつまでたっても
その悲しみが心の中にとどまり
本当の笑顔にはなれないこと

いつまでも人を恨むことは
いつまでたっても

その人は心の中に住み着き
本当の幸せにはなれないこと

忘れることではなく
思わないようにすること

たとえ思ってしまっても
自分の心を
その記憶の場所に
戻さないことで

少しずつ心が楽になること
笑顔が増えていくことを

恐竜は教えてくれた

きみの背中に乗って
大空を駆けめぐる
幸せ探しの旅は

幸せは
探しに行くものではなく

自分の心で
作っていくことだと
教えてくれる旅だったね

親愛なる恐竜達よ
これからも、ぼくの心を
支えておくれ

ぼくの大切な人のために
笑顔を送り続けられるように
ぼくの心を支えておくれ